



(財)日本消防協会などが主催する平成23年度防火・防災に関する作文コンクールにおいて、町屋敷葵子さんが佳作に入賞。1月24日(火)、市役所本庁で、岩切秀雄市長から表彰の伝達がありました。(原文は次の通りです)



町屋敷葵子さん(川内南中学校1年)

防火・防災に関する作文コンクール入賞

消防団活動をする

父の頑張りと心



川内南中学校
1年 町屋敷葵子

私は、あの日あの時が来るまで父の苦勞を知らなかったです。

私の父は、消防団員です。消防団員とは、他の職業を持っていて災害時に活躍する人達の事です。

私の地域の消防団員は全員で十四人でその中で父は「機関員・ポンプ」が担当です。朝や夜、いつ災害が起こるか分からないから、消防団ではこんな言葉があります。「携帯電話は二十四時間電源オン・就寝中は、枕元に。」父も寝る時は枕元にいつも置いてあります。

今から一年前の秋ごろ、私は友達のを忘れた物を届けに外に出ました。その時私の目に飛びこんできたのは山の近くから煙がモクモクと立ち上る光景でした。すると、私の背後から、「ウーウーカンカン」とサイレンが聞こえました。

消防車両のサイレンの音には二つあって、「ウーウー」だけ鳴ったら、緊急救助の時、「ウーウーカンカン」と鳴ったら火災時を表す二つの音があります。近くの家の人も外に出てきて今だに収まる事のない煙を見上げて、「大丈夫かね?」「どこから煙が上がっているのかね?」など色々な心配する声が聞こえました。そんな中まだ鳴りやまないサイレンと共に多くの消防車や警察の車が急いで現場に向かう中に父の姿もありました。その日、夜からの仕事でいつもならば寝ている時間ですが父は眠たい表情もせずいました。

私はふと思う事がありました。「消防団をしていて大してお金を貰えるわけではないし、それも仕事前にもかかわらずに何でそんなに頑張るのかな」と思い私は父に聞きました。すると父は、「お前は少しでも人のために役に立つとか友達に助けてもらった事はないのか。お父さんはこの地域に来てから今までも色々な人に助けられてきた。

人っていうのは一人では絶対に生きていけないし一人一人が協力し支えあって生きていくんだよ。」

父はそう言ってお茶を一口飲んでからまた話し始めました。

「確かに今日は正直行きたくないとか、何で今火災になったりするのとか思う日も無いとは言えないけれどそう思うからこそ今は自分が行かなきゃいけない、自分が現場には必要なんだと思うと頑張ろうって思うんだよ。それと人のために何かするっていうのは気持ちの良い事だしほんの少しの気遣いでも人のために役立つっていうのは本当に良い事だよ。」

そう言ってお茶を一口飲んでからまた話し始めました。

今考えると、その時の自分が情けなく思い、いつも自分を中心に考えていた私と比べて少しでも人の役に立ちたいと思う父は本当にすごいです。

あの日、あの時から私は少しでも人の役に立ちたい、人から「ありがとう」が言われる人になりたいと強く思いました。そして私も父のような広い心とやさしさが持てるステキな大人になっていきたいと改めて思いました。



「竹紙」がエコプロダクツ大賞受賞
里山保全にも貢献

中越パルプ工業(株)川内工場が生産する「竹紙」が、2011年度「エコプロダクツ大賞」農林水産大臣賞を受賞。これまで利活用が難しかった竹を活用した「竹紙」の開発と商品化に成功した功績が高く評価されたもの。県内に豊富にある竹の活用は、森林や里山の保全などにもつながると注目されています。 ※環境に配慮した製品



川内

自転車で走った距離
地球一周分の4万km!

今村幸次さん(69歳・水引町)が、1月末で自転車での総走行距離4万kmを達成しました。平成16年から健康維持と気分転換のために走り始めたのがきっかけ。過去に桜島一周や大隅半島一周も達成。今村さんは、「今後も九州一周や四国一周にも挑戦してみたい」と意気込みを語りました。



息ひつたりのダンス!
皆さんも一緒に!
(少年自然の家)



元気な「きゃんぱく」をPR!
プロモーションビデオが完成

本市の体験型旅プログラム「きゃんぱく」を全国に発信するプロモーションビデオが完成しました。(曲:宮井紀行さん「Traveler」(トラベラー))鹿児島純心女子大学のチアリーディング部や各事業所のメンバーが、メイン会場の少年自然の家など市内各所で、元気にダンスをする内容となっています。*映像はきゃんぱくホームページなどでご覧いただけます。(http://canpak.jp/)



空に向かって元気いっぱい両手を広げて!
(西方海岸)



祁答院

笑顔あふれる

恒例の大村初市

2月9日(木)、恒例の大村初市がありました。会場には出店が立ち並び、だご汁が無料配布されるなど、多くの買い物客でにぎわいました。このほか、チンドン屋も登場し、にぎやかな音楽で会場は大盛り上がり。笑顔あふれる初市となりました。



樋脇

体験プログラムを満喫
元気まつり開催

2月12日(日)、市比野小学校で、元気まつりが開催され、子どもから大人まで約150人が参加。車椅子の操作や消防車の放水、昔遊びなどを体験しました。実際に車椅子に乗車した参加者は、「段差がある場所ではなかなか前に進めず大変」と話していました。